

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-224	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	コⅡ・342	Revised COMET English Communication Ⅱ		

1. 編修の基本方針

編修の基本方針として、学習者が**英語に対する興味**を深め、**英語を読む・聞く・書く・話すことの重要性を知る**と同時に、「**コミュニケーション英語Ⅰ**」で培った**英語の運用能力**をさらに伸ばせる内容・構成となるよう留意した。

1. 題材の選択においては、学習者が身近に感じ、かつ学習者の**知的好奇心を満足させ得る内容のもの**や、学習者に**考えさせる深みのあるもの**を中心に選んだ。
2. また、題材内容を一方的に与えるだけでなく、学習者自身の意見を引き出したり、クラスメートに意見を聞いたりする活動を設けるなど、**4技能を有機的に関連**させるようにした。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を身につけ、主体的に**社会の形成に参画**し、**自他国の伝統・文化を尊重**しつつ**国際社会の平和と発展**に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Let's Interview Classmates!	相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号)	6～7頁
本文		
①Lesson 1	①宇宙での食事や体の変化について学び、幅広い分野での探究心を培う。(第1号)	①10頁1行目～12頁9行目
②Lesson 2	②日本のアニメが海外で放送される際の変更点を通じて自国と他国の文化や習慣の違いを学び、国際的視野を養う。(第5号)	②18頁1行目～20頁12行目
③Lesson 4	③効果的な目標設定の仕方を学ぶことで、自律や自己実現の態度を養う。(第2号)	③38頁1行目～42頁9行目
④Lesson 5		
⑤Reading 1	④高校生のみで運営されるレストランで働く生徒の思いに触れることで、自主自律の精神や勤労を重んじる態度を養う。(第2号)	④50頁1行目～54頁11行目
⑥Lesson 7		
⑦Lesson 8		

<p>⑧Lesson 10</p> <p>⑨Lesson 11</p> <p>⑩Lesson 12</p> <p>⑪Reading 2</p>	<p>⑤3編の詩を読むことで、広いジャンルの文学に触れ、豊かな情操を養う。(第1号)</p> <p>⑥イルカの人工尾びれ開発に取り組む人々を通じて、生命を尊び、生き物を慈しむ精神を培う。(第4号)</p> <p>⑦留学生からの視点で日本のサービスを見直すことで、自国と他国の伝統や文化の違いを尊重する態度を養う。(第5号)</p> <p>⑧坂氏の紙管建築誕生の経緯や仕事に対する思いを学ぶことで、創造性や職業意識を培う。(第2号)</p> <p>坂氏が被災地支援を続ける姿勢を通じて、社会的責任の意識や社会貢献の姿勢を養う。(第3号)</p> <p>⑨スポーツを通じてアパルトヘイト後の南アフリカを1つにまとめようとしたネルソン・マンデラとラグビー代表チームについて学ぶことで、平等の精神や人権尊重の意識を培う。(第3号)</p> <p>⑩世界で認められる製品を作る町工場の技術とチャレンジ精神を学ぶことで、創造性や勤労意欲を培う。(第2号)</p> <p>⑪東日本大震災時に現地で活動した2人の高校生の姿を通じて、ボランティア精神や行動力を養う。(第3号)</p>	<p>⑤70頁1行目～73頁17行目</p> <p>⑥76頁1行目～80頁13行目</p> <p>⑦86頁1行目～90頁12行目</p> <p>⑧110頁1行目～114頁13行目</p> <p>⑨120頁1行目～124頁13行目</p> <p>⑩130頁1行目～134頁13行目</p> <p>⑪142頁1行目～148頁12行目</p>
<p>Challenge</p> <p>①Logic Puzzle</p> <p>②Let's Make English Haiku!</p>	<p>①論理パズルを解く活動により、論理的思考や真理を追究する態度を養う。(第1号)</p> <p>②英語俳句を自作する活動により、個人の感性を磨いて自主的に創作活動を行う姿勢を養う。(第2号)</p>	<p>①24～25頁</p> <p>②138～139頁</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特徴

A. 授業が進めやすく、学習しやすい見開き構成

左ページに本文、右ページに本文に関する活動を配しました。学習内容が一目でわかる構成で、学習意欲を喚起し、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させるのに役立ちます。

B. 何度も本文に戻って繰り返し学習

右ページの本文に関する活動に取り組むことで、自然に繰り返し本文に触れ、理解を深めます。本文理解を通じて、豊かな人間性や創造性を養います。

C. 学習者に自信を与え、社会・世界とのつながりを意識させる題材

学習者の目線で、「自分もやればできる」と自信をもてるような題材や、自分たちが社会や世界とつながっていると感じさせる題材を揃えることで、学習者の個性の確立や、社会についての広く深い理解や、社会の発展に寄与する態度の育成を助長します。

II. 各課の構成

1. 導入ページ


- **Your Goal!** : 内容・文法・表現の観点で**その課の学習目標**を示しています。

Your Goal!	内容 日本のサービスについて、本当に必要かどうか考えてみよう。
	文法 make, let, haveを使って文を作ろう。
	表現 「あなたは～をどう思いますか」と、人の考えを尋ねよう。


- **Warming Up** : 本文中の語とその関連語の**ピクチャー・ディクショナリー**で、無理なく**語彙力の強化**が図れます。

Warming Up イラストで意味を確認して、語句を発音しよう。


Train 電車



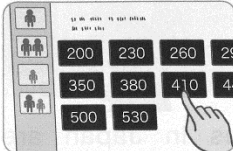
A station [steɪʃən ステーション]



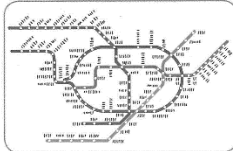
B track [træk トラック]



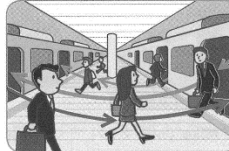
C ticket [tikət ティケト]



D fare [feə フェア]



E network map
[nɛtwɜ:k mæp ネットワーク マップ]



F transfer
[trænsfɑ:ɪr トランスファー]

- 電車に関係した次のことばは英語で何と言うでしょう。

① 時刻表 ② 定期券 ③ 地下鉄

▶ 電車に関係したことばでほかにも知っているものを英語で言ってみましょう。

- **Let's Listen!** : 日本人が区別しにくい2つの音を聞き取る練習です。

発音のヒント: 正しい発音の具体的な手順を**イメージし易いイラストと説明**で示し、積極的に発音練習に取り組めるよう工夫しました。リスニングクイズで英語らしい音を聞き取る力も強化できます。


発音のヒント

[f]と[h]

① [f] 下くちびるを上歯に軽く当て、くちびると歯がすれているような感じで息を出します。


② [h] 日本語のハ行の音と似ていますが、口先ではなくのどの奥から自然に息を出します。

[f]



くちびると歯がすれているような感じで息を出す

[h]



冷たい手を温めるようにする

① 単語を聞いて、どちらが発音されたか言ってみよう。

1. ㉠fat / ㉡hat 2. ㉠feel / ㉡heel 3. ㉠fear / ㉡hear

かかと

2. 本文ページ

- **左ページ** : 本文
- **右ページ** : 本文理解に必要な活動を提示、学習者に安心感を与えます。

New Words : 新語の意味を確認。

Points to Check : 代名詞の指すものや注意すべき語句の意味などを確認。

Comprehension : 内容把握問題。表やイラストも取り入れ、取り組みやすくしています。

What Do You Think? / How About You? / Ask Your Classmates! /

Write Your Opinion! / Do Some Research! :

本文内容に関連した自己表現活動や、本文に関する知識を深めるための調べ学習。ヒントの選択肢があるので、抵抗なく取り組みます。

本文をより深く考える質問は日本語で提示し、学習者の負担を減らしています。

What Do You Think?

① Who do you agree with, Mike or Bella?

→ I agree with Mike / Bella.

② What is your opinion about vending machines?

→ I think / don't think we need them, because they are _____


[useful / not eco-friendly, etc.]

🔌 身の回りで、あなたが電力を使いすぎていると思うものは何ですか。


3. 課末ページ

- **Grammar** : 文法解説+演習問題。解説では図やイラストを多用して、イメージとしてとらえられるよう工夫しました。


make				「～に…させる」	
let	+	目的語 ~	+	動詞の原形 ...	「～に…させてやる」
have				「～に…してもらう, させる」	



My mother **made**



me



clean my room.

- **Useful Expression** : 日常で使える重要表現をペアワークで学びます。ヒントの選択肢つきで、自発的な英語活動を促します。



Useful Expression

相手の考えを尋ねる

A: Do you have a smartphone?

B: Yes, I do. My parents gave one to me last year.

A: What do you think of it?

B: Well, I think it's very 1) convenient.

A: That's true, but I think smartphones are 2) expensive.



What do you think of ~? は、「あなたは~をどう思いますか」と相手の考えを尋ねる表現です。相手の意見に反対するときは、That's true, but「そのとおりですが、…」などのように、まず相手の意見を認めてから自分の意見を言うようにしましょう。

▶ 上の対話を参考に、ペアになって 部分を変え、練習してみよう。

- Hints!** 1) useful / cool
 2) addictive [adiktiv アディクティヴ] (依存性がある) / unnecessary [Annésasèri アンネセセリイ] (不必要な)

- **Listening** : 本文内容に関連した対話形式のリスニング問題。
- **Words to Remember** : その課のトピックや学習する文法事項を含む、著名人の名言。

Ⅲ. その他

1. 題材の形式は、**Q & A**(Lesson 1, 6), **日記**(Lesson 5), **意見の表明**(Lesson 8)など、**バラエティに富んだもの**としました。
2. コラム(**Activity**)では、**4技能を有機的に用いる活動**を用意し、かつ**学習者にわかり易い評価基準**を提示することで、**実践的コミュニケーション能力**を高められるように配慮しました。
3. 巻末**Word List**では、本書で扱った語の**品詞**や**名詞の可算・不可算**, **動詞の活用**, **形容詞の比較変化**などを載せることで利便性を高めることに加え、**語彙への関心**を高めるよう配慮しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-224	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	コⅡ・342	Revised COMET English Communication Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるため、題材はバラエティに富んだ、生徒に身近なものを選定した。
- B. 各課末の Useful Expression やコラムの Activity を設けることで、生徒が積極的に対話したり意見を述べたりできるように留意した。
- C. 各課導入の Warming Up (ピクチャー・ディクショナリー) や巻末の詳しい Word List により、コミュニケーションに必要な語彙力を養成するよう工夫した。
- D. 情報や考えを的確に理解し、適切に伝える能力を伸ばすよう、各課 Comprehension では多様な形式で本文の内容把握ができるように工夫した。また、本文各パートに What Do You Think? / Ask Your Classmates! / Do Some Research! などの活動を取り入れ、本文の内容を基に、自己表現活動、意見交換、調べ学習ができるような構成とした。

II. 教科書の構成

A. 本課・導入ページ

1. Your Goal! : 内容・文法・表現の観点でその課の学習目標を示す。
2. Warming Up : 本文中の語とその関連語彙のピクチャー・ディクショナリー。
3. Let's Listen! + 発音のヒント : 区別しにくい音の聞き取り練習 + 具体的な発音指導。

B. 本課・本文ページ

1. 左ページ : 本文
2. 右ページ : 本文理解に必要な活動
 - ① New Words : 新語の意味を確認。意味を選ぶ形式で、学習者の負担を減らしている。
 - ② Points to Check : 代名詞の指すものや注意すべき語句の意味などを確認。
 - ③ Comprehension : 本文内容の把握問題。
 - ④ What Do You Think? など : 本文内容に関連した自己表現活動や調べ学習。

C. 本課・課末ページ

1. Grammar : 左ページに解説を、右ページに演習問題を配置。解説は適宜図やイラストを用いてイメージとしてとらえやすくした。演習問題は取り組みやすいドリル形式で、本文中の単語も用いて、自然と復習ができるようにした。
2. Useful Expression : 日常で使える重要表現を学べるペアワークの活動。
3. Listening : 本文内容に関連した対話形式のリスニング問題。
4. Words to Remember : 心に響く著名人の名言。暗唱活動にも使える。

D. その他の構成要素

1. **Let's Interview Classmates!** : クラスメートのインタビュー+他己紹介活動。
2. **Reading** : 2つの読み物。英語の詩と、東日本大震災時の高校生の活動手記。
3. **Activity** : 4技能を有機的に用いる活動。シンプルな評価基準を設け、学習意欲を高めた。
4. **Challenge** : 英語を用いて楽しみながら取り組める2つの知的・創作的活動。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Let's Interview Classmates!	〔言語の働きの例〕の取扱い c 情報を伝える ・紹介する	7 頁	2
Lesson 1～12	<p>内容</p> <p>(1)-ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>(1)-イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>(1)-エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2)-ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>(2)-ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>〔言語の使用場面の例〕の取扱い</p> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面 ①地域での活動 ②職場での活動</p> <p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面 ①本、新聞、雑誌などを読むこと ②情報通信ネットワークを活用し情報を得ること</p>	<p>(1)-ア Listening (全課)</p> <p>(1)-イ Comprehension, Comprehension の補足活動 ▶ (全課) Words to Remember (全課)</p> <p>(1)-エ Write Your Opinion! (65, 135 頁)</p> <p>(2)-ア Let's Listen! (全課) Listening (全課)</p> <p>(2)-ウ Warming Up (全課) トビラ及び各パートの導入文 (全課)</p> <p>b ① Lesson 10 本文 (112, 114 頁) ② Lesson 10 本文 (110 頁) Lesson 12 本文 (130, 132, 134 頁)</p> <p>c ①② Lesson 1, 10, 11, 12 Do Some Research! (13, 113, 121, 135 頁) Lesson 3 How About You? 日本語質問 (31 頁)</p>	81

	<p>〔言語の働きの例〕の取扱い</p> <p>a コミュニケーションを円滑にする ①聞き直す・確かめる ②言い換える・言い直す</p> <p>b 気持ちを伝える ①褒める ②望む ③同情する</p> <p>c 情報を伝える ①報告する ②理由を述べる</p> <p>d 考えや意図を伝える ・計画を伝える</p> <p>e 相手の行動を促す ①誘う ②情報・意見を聞く ③感想を尋ねる ④考えを尋ねる</p> <p>文構造のうち、運用度の高いもの c-(a) 主語＋動詞＋間接目的語＋that で始まる節 d-(a) 主語＋動詞＋目的語＋分詞</p> <p>文法事項 (ア) 不定詞の用法 ①使役動詞＋O＋原形不定詞 ②知覚動詞＋O＋原形不定詞 (イ) 関係代名詞の用法 ①関係代名詞 what ②関係代名詞の継続用法 (ウ) 関係副詞の用法 (オ) 代名詞のうち、it が名詞用法の 句および節を指すもの (カ) 動詞の時制など ・過去完了形 (キ) 仮定法 (ク) 分詞構文</p>	<p>a ①14 頁 Useful Expression ②32 頁 Useful Expression</p> <p>b ①44 頁 Useful Expression ②56 頁 Useful Expression ③104 頁 Useful Expression</p> <p>c ①136 頁 Useful Expression ②66 頁 Useful Expression</p> <p>d 116 頁 Useful Expression</p> <p>e ①126 頁 Useful Expression ②22 頁 Useful Expression ③82 頁 Useful Expression ④92 頁 Useful Expression</p> <p>c-(a) 14 頁 Grammar d-(a) 126 頁 Grammar</p> <p>(ア) ①92 頁 Grammar ②126 頁 Grammar (イ) ①66 頁 Grammar ②104 頁 Grammar (ウ)116 頁 Grammar (オ)56 頁 Grammar (カ)82 頁 Grammar (キ)136 頁 Grammar (ク)44 頁 Grammar</p>	
Reading	<p>内容 (1)-イ 説明、評論、物語、随筆など について、速読したり精読したりする など目的に応じた読み方をする。ま た、聞き手に伝わるように音読や暗唱 を行う。</p> <p>〔言語の使用場面の例〕の取扱い b 生徒の身近な暮らしや社会での 暮らしにかかわる場面 ・地域での活動</p> <p>文法事項 (イ) 関係代名詞の用法 ①関係代名詞 what ②関係代名詞の継続用法 (エ) 助動詞の用法 ・助動詞＋受け身 (オ) 代名詞のうち、it が名詞用法の 句及び節を指すもの</p>	<p>Reading 1 Let's Try! (71 頁)</p> <p>Reading 2 Comprehension, Let's Read It Out! (149 頁)</p> <p>Reading 2 本文 (142～148 頁)</p> <p>(イ) ①Reading2 148 頁 10 行目 ②Reading2 143 頁 8 行目 (エ) Reading2 147 頁 7 行目 (オ) Reading2 145 頁 1 行目</p>	11

	(カ) 動詞の時制など ・現在完了進行形 (ク) 分詞構文	(カ) Reading2 147頁 6行目 (ク) Reading2 146頁11行目	
文法のまとめ	内容の取扱い (2) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。 文構造のうち、運用度の高いもの a-(a) 主語+be 動詞以外の動詞+分詞 b-(a) 主語+動詞+if で始まる節 c-(a) 主語+動詞+間接目的語+that で始まる節 d-(a) 主語+動詞+目的語+分詞 e-(a) 主語+seem など+to 不定詞 e-(b) It+seem など+that で始まる節 文法事項 (ア) 不定詞の用法 ①使役動詞+O+原形不定詞 ②知覚動詞+O+原形不定詞 (イ) 関係代名詞の用法 ①関係代名詞 what ②関係代名詞の継続用法 (ウ) 関係副詞の用法 (エ) 助動詞の用法 ①助動詞+受け身 ②助動詞+have+過去分詞 (オ) 代名詞のうち、it が名詞用法の句および節を指すもの (カ) 動詞の時制など ①現在完了進行形 ②過去完了形 (キ) 仮定法 (ク) 分詞構文	Let's Talk! (34, 69, 107, 140, 141 頁) a-(a) 34 頁 b-(a) 35 頁 c-(a) 35 頁 d-(a) 140 頁 e-(a) (b) 69 頁 (ア) ①106~107 頁 ②140 頁 (イ) ①69 頁 ②107 頁 (ウ)140 頁 (エ) ①107 頁 ②141 頁 (オ)68 頁 (カ) ①69 頁 ②106 頁 (キ)141 頁 (ク)68 頁	8
Activity	内容 (1)-ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (1)-ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 (1)-エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 (2)-イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。	(1)-ア Activity 1 (47 頁) (1)-ウ, エ Activity 2 (95 頁) (2)-イ Activity 1 TRY (47 頁) Activity 2 (94~95 頁)	4

	<p>〔言語の使用場面の例〕の取扱い</p> <p>a 特有の表現がよく使われる場面</p> <p>・食事</p>	Activity 1 (47 頁)	
Challenge	<p>内容</p> <p>(2)-エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>	Challenge 2 (138～139 頁)	4
		計	110